

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）」は、2017年2月17日に第11期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドCークラスJ（C-USD）（バミューダ籍・円建て）」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するCOC債等のハイブリッド証券に投資することで、安定した利子収入の獲得と信託財産の成長を図ることをめざして運用を行いました。また、米ドル（対円）にかかるコールオプションの売りを行うカバードコール戦略により、オプションプレミアム収入を獲得することにより、損失の軽減や利益の上乗せを目指しました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第11期末(2017年2月17日)

基準価額	10,511円
純資産総額	2,187百万円
第6期～第11期	
騰落率	8.2%
分配金(税込み)合計	340円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ピムコ世界金融 ハイブリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・通貨プレミアム)

追加型投信／内外／その他資産(ハイブリッド証券)

交付運用報告書

第2作成期

第6期(決算日2016年9月20日) 第7期(決算日2016年10月17日)

第8期(決算日2016年11月17日) 第9期(決算日2016年12月19日)

第10期(決算日2017年1月17日) 第11期(決算日2017年2月17日)

作成対象期間(2016年8月18日～2017年2月17日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

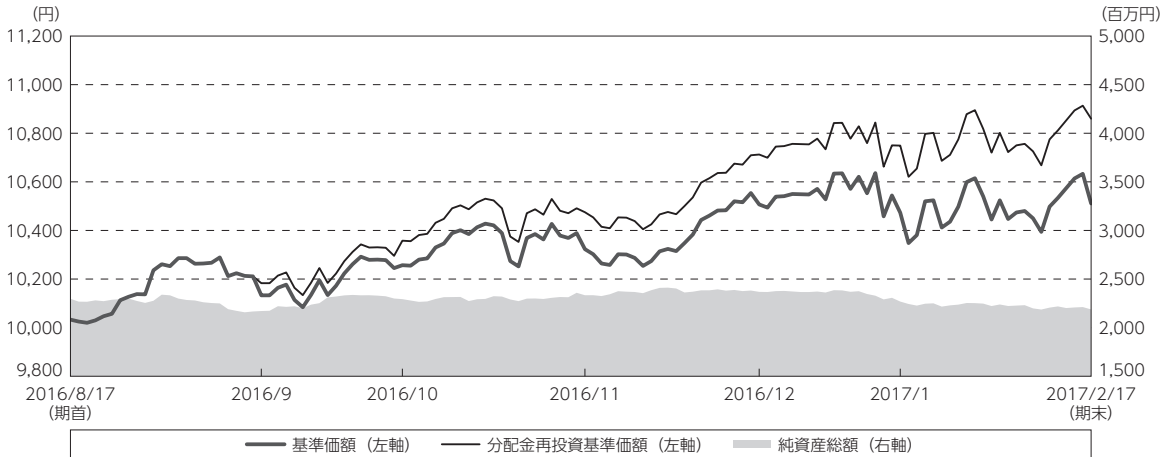
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2016年8月18日～2017年2月17日)



第6期首：10,033円

第11期末：10,511円 (既払分配金(税込み)：340円)

騰落率：8.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の変動要因

当ファンドの分配金再投資基準価額は、2016年8月19日に当期の最安値である10,273円を付けた後、CoCo債などのハイブリッド証券価格の堅調推移が上昇に寄与しました。9月以降は、米国の追加利上げの見送りや日銀の長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入などを受けて、1ドル=100円台前半で一進一退の展開となりましたが、ハイブリッド証券価格が概ね堅調に推移したことにより、当ファンドの分配金再投資基準価額は緩やかに上昇しました。11月以降は、米国の長期金利が急騰し日米金利差が拡大したことに伴い、12月にかけて1ドル=118円台まで上昇し、当ファンドの分配金再投資基準価額も上昇基調が続きました。2017年1月以降は為替が円高方向に振れたものの、ハイブリッド証券価格が底堅く推移したことなどにより、当ファンドの分配金再投資基準価額は、2月16日に当期の最高値である11,188円を付け、当期末時点では作成期首比で+8.2%の11,134円となりました。

1万口当たりの費用明細

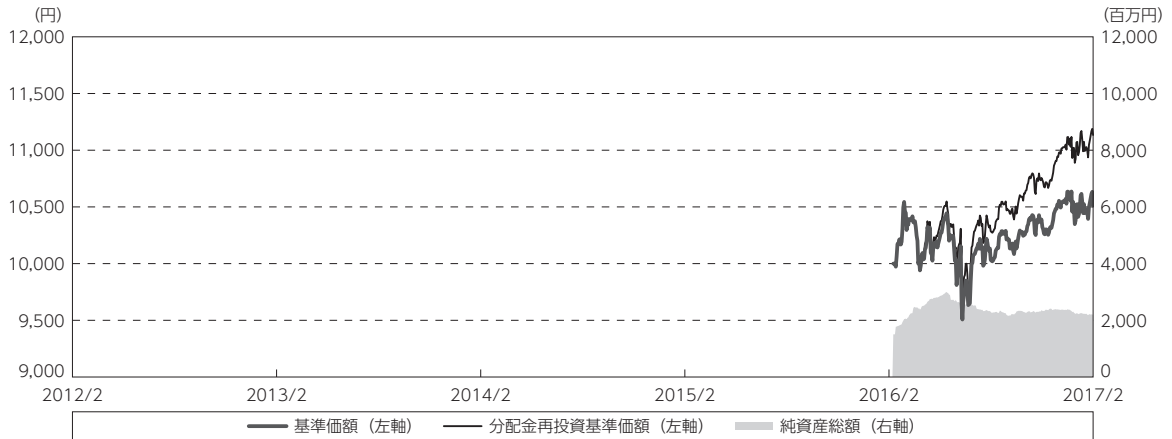
(2016年8月18日～2017年2月17日)

項 目	第6期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	104	0.999	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(63)	(0.604)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.067	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(6)	(0.057)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	111	1.066	
作成期中の平均基準価額は、10,366円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年2月17日～2017年2月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年2月26日から2017年2月17日)のみの記載となっております。

	2016年2月26日 設定日	2017年2月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,511
期間分配金合計(税込み) (円)	—	590
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.3
純資産総額 (百万円)	1,506	2,187

- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年2月17日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2016年8月18日～2017年2月17日)

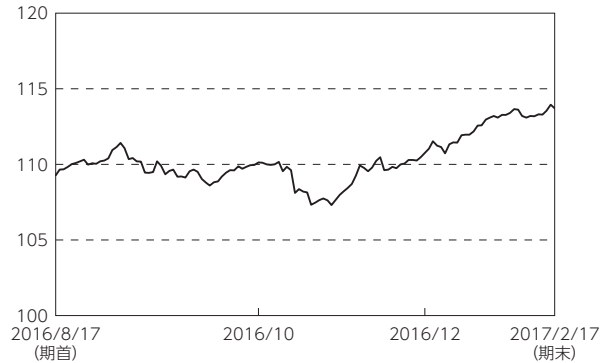
※以下のコメントの内容は、ピムコ社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【CoCo債市況】

期の前半は、英国や欧州で好調な経済指標が確認されたことがプラスとなった一方、大手欧州銀行が米司法省から高額な課徴金支払い命令を受けたことや一部の大手銀行が劣後債の償還を見送ったことがマイナスとなり、金融ハイブリッド証券市場はほぼ横ばいで推移しました。

しかし期の後半は、米大統領選にてトランプ候補が勝利したことを受けて同氏の掲げる財政出動に対する期待が高まったことから投資家心理が改善し、金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）が量的緩和策の延長を決定したことも好感されました。期を通じてみると金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。

【CoCo債指数の推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 (注) CoCo債指数はBofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックスを使用

【為替市況】

期初は米供給管理協会（ISM）製造業景況感指数などの堅調な米経済指標を背景に利上げ観測が高まるなか、円安・米ドル高となりました。

期中にかけても、米大統領選の結果を受けて景気刺激策の拡大や保護主義的な貿易政策がインフレ率を高めるとの観測を背景に金利が上昇し、日米金利差の拡大に伴い円安・米ドル高が進行しました。

期末にかけては、これまでの円安基調の流れに一服感がみられ、円高・米ドル安が進行しました。期を通じてみると、期中の米ドルに対する円の下げ幅が大きく、円安・米ドル高となりました。

【為替レートの推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

当ファンドのポートフォリオ

(2016年8月18日～2017年2月17日)

<当ファンド>

「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)>

金融機関が発行するCoCo債(偶発転換証券)等のハイブリッド証券を主要投資対象とし、金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしました。また、米ドル(対円)のカバードコール戦略を行い、オプション料(プレミアム)の追加的な収益の獲得をめざして運用いたしました。

なお、直近1月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

ポートフォリオ構成

平均格付け	B B B -
平均デュレーション	4.7年
平均最終利回り	7.36%
平均クーポン	6.18%
平均直利	5.90%
銘柄数	152銘柄
カバース率	100.23%
プレミアム	18.22%

- (注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。
- (注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- (注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年あたりどの程度となるかを示すものです。
- (注4) クーポンとは、額面金額に対する単年での利息の割合を表します。
- (注5) 平均直利とは、平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。
- (注6) カバース率とは、外貨建資産に対する通貨オプションポジションの割合を示しています。
- (注7) プレミアムとは、純資産に対する年率調整後のオプションプレミアム収入です。

債券種別構成比率

CoCo債	66.9%
優先証券	9.2%
劣後債	9.6%
金融シニア債	7.4%
株式	0.8%
その他債券	0.7%
その他	5.4%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) CoCo債にはパーゼルⅢ対応型劣後債を含みます。

格付分布

A A A格	7.3%
A A格	1.1%
A格	2.5%
B B B格	32.0%
B B格	47.5%
B格以下	9.7%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) ピムコによる社内格付を含みます。

国・地域別構成比率

英国	28.7%
フランス	12.7%
スペイン	12.0%
オランダ	11.1%
スイス	10.3%
その他	25.2%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国・地域はピムコの分類によるものです。

※上表については、ピムコ(PIMCO: パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年8月18日～2017年2月17日)

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2016年8月18日～2017年2月17日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日	2016年10月18日～ 2016年11月17日	2016年11月18日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日
当期分配金	50	50	50	50	70	70
(対基準価額比率)	0.491%	0.485%	0.482%	0.474%	0.664%	0.662%
当期の収益	50	50	50	50	70	70
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,197	1,379	1,562	1,748	1,921	2,096

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、主として「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラス」(C-USD)(バミューダ籍・円建て)への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て) >

当該外国投資信託を運用している、ピムコ社(PIMCO = Pacific Investment Management Company LLC)は、以下のようにコメントをしています。

2016年の米大統領選の結果を受け、足もとでは経済成長の加速、金融規制の緩和、長期金利の上昇などがテーマとなっていますが、これらは概ね金融機関の収益にとってプラスに作用すると考えられます。

中長期的には、金融機関の健全性が高い状況が継続すると予想されます。第1に、欧米の金融機関は金融危機以降、自己資本比率を危機前の2倍近くに引き上げています。第2に、金融機関は自己勘定取引のサイズを危機前の半分以下にしており、リーマン・ショック時のような大幅な損失を出しづらい状況にあります。第3に、欧米金融機関の融資は、金融危機以降は伸びておらず、大幅な不良債権の増加は考えづらい状況です。したがって、足元米国ハイイールド債券と同程度の利回りを提供する金融ハイブリッド証券市場には魅力的な投資機会が提供されていると見ています。また、世界の株式市場が乱高下する中、キャピタルゲインとインカムゲインのバランスを再考する上で、7%を上回る利回りをもたらす金融ハイブリッド証券は引き続き相対的に魅力的と考えられます。

金融ハイブリッド証券の運用にあたっては、フランスやドイツなどで選挙を控えるなか、政治リスクに注視し、慎重な運用を継続する方針です。また、各国で金融規制の導入の仕方にばらつきがあることに加え、金融機関においてもビジネスモデルや保有資産、資本水準などが大きく異なることから、発行体選択や銘柄選択を重視しています。具体的には、欧州連合(EU)離脱問題を受けて調整しているものの、引き続き財務の健全性が高い英国などの金融機関等に投資を継続します。また、ECBはCoCo債の投資家保護に向けた規制を導入することも検討しており、この恩恵を大きく受けるとみられる欧州の金融機関にも注目しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

お知らせ

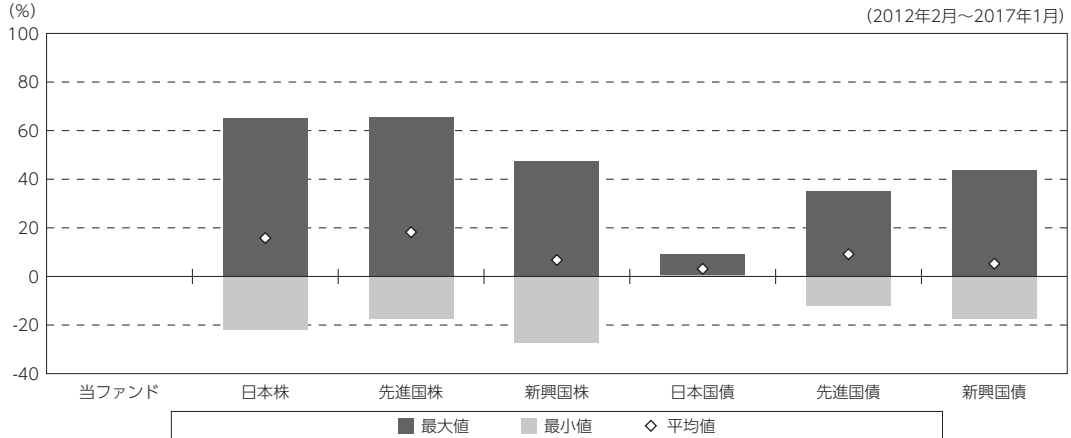
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	平成38年2月17日まで（設定日：平成28年2月26日）
運用方針	安定的な配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」(C-US D) (バミューダ籍・円建て)」および国内の証券投資信託である「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」(C-US D) (バミューダ籍・円建て)」への投資を通じ、世界の金融機関が発行するC o C o債等のハイブリッド証券等に投資するとともに、円に対する米ドルのコール・オプションを売却し、オプションプレミアム収入の獲得を目指すカバードコール戦略を活用し、安定的な配当収入の確保をめざします。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象額については委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.5	△ 12.3	△ 17.4
平均値	-	15.8	18.2	6.7	3.1	9.2	5.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2012年2月から2017年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載しておりません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年2月17日現在)

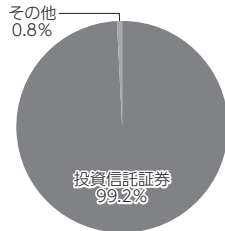
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
	%
ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドC-クラスJ(C-USD)(バミューダ籍円建て)	99.2
F O F s 用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

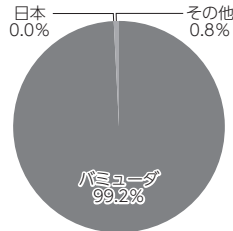
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

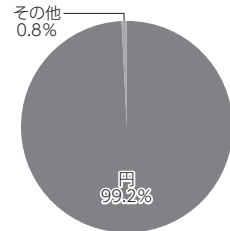
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末
	2016年9月20日	2016年10月17日	2016年11月17日	2016年12月19日	2017年1月17日	2017年2月17日
純資産総額	2,170,918,611円	2,293,359,340円	2,333,499,144円	2,368,093,164円	2,268,412,042円	2,187,654,142円
受益権総口数	2,142,365,478口	2,235,868,574口	2,260,551,648口	2,253,757,394口	2,165,876,968口	2,081,219,702口
1万口当たり基準価額	10,133円	10,257円	10,323円	10,507円	10,473円	10,511円

(注) 作成中における追加設定元本額は880,079,361円、同解約元本額は1,088,381,950円です。

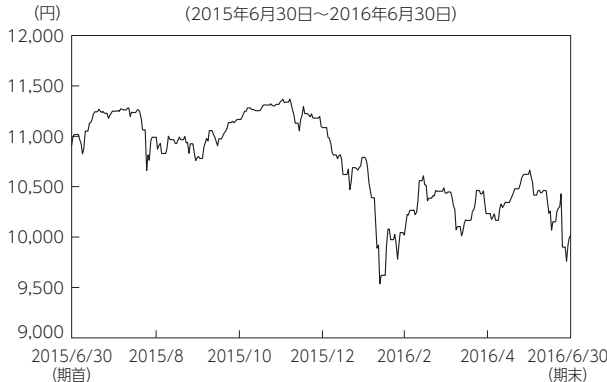
組入上位ファンドの概要

ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【分配金再投資基準価額の推移】

(2015年6月30日～2016年6月30日)



【1万円当たりの費用明細】

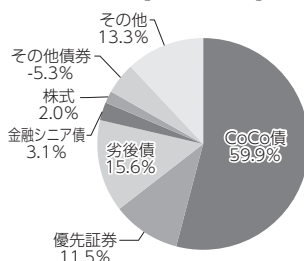
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

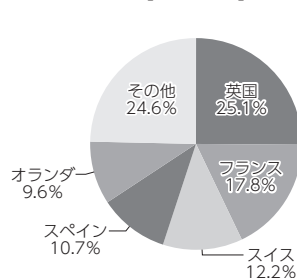
(2016年6月30日現在)

	銘柄名	国 / 地域	比率
			%
1	ロイズ バンキング グループ	英国	4.5
2	クレディ・スイス	スイス	3.5
3	サンタンデール銀行	スペイン	3.4
4	HSBC	英国	3.3
5	ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行	スペイン	3.0
6	パークレイズ	英国	2.7
7	KBC銀行	ベルギー	2.5
8	ラボバンク	オランダ	2.4
9	UBS	スイス	2.4
10	BNP パリバ	フランス	2.2
組入銘柄数		142銘柄	

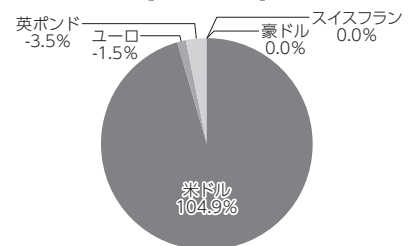
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



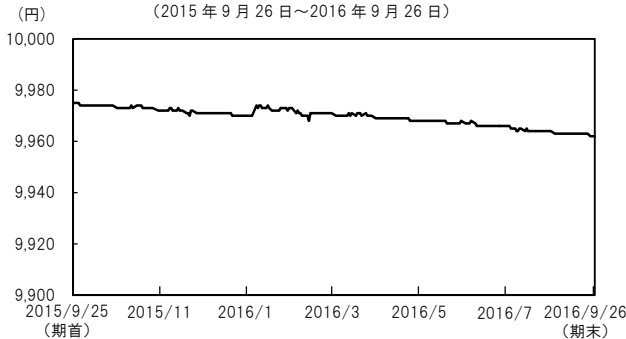
(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2016年6月30日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年9月26日～2016年9月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	14	0.141
(投信会社)	(11)	(0.108)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託銀行)	(2)	(0.022)
(b) その他費用	1	0.005
(監査費用)	(0)	(0.002)
(その他)	(0)	(0.004)
合計	15	0.146

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2016年9月26日現在)

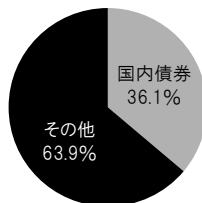
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第869回政府保証公営企業債券	日本	7.9
2 第19回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	日本	6.2
3 第871回政府保証公営企業債券	日本	5.6
4 第3回政府保証西日本高速道路債券	日本	3.1
5 第6回政府保証東日本高速道路債券	日本	2.7
6 第310回中国電力株式会社債	日本	1.3
7 第306回中国電力株式会社債	日本	1.3
8 第8回政府保証西日本高速道路債券	日本	1.3
9 平成18年度第6回静岡県公募債	日本	1.3
10 第10回政府保証中日本高速道路債券	日本	1.3
組入銘柄数		13銘柄

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

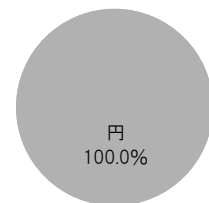
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2016年9月26日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。